

Asia Indicators

発表日:2023年7月10日(月)

オーストラリア:PMI(23年6月)

～サービス業の拡大ペースが引き続き鈍化、既往の利上げの影響から次月以降は縮小の可能性も～

第一生命経済研究所 経済調査部
主任エコノミスト 阿原 健一郎(Tel:050-5470-4868)

6月のオーストラリア総合PMIは50.1とわずかながら節目の50を上回った。5月に続き50を上回り景況感はまだ拡大を示しているものの、拡大ペースは鈍化した(5月51.6)。各項目をみると、製造業PMIが48.2(5月48.4)と引き続き50を下回って推移した一方で、サービス業PMIが50.3(5月52.1)と引き続き50を上回り推移したが、その拡大ペースは大きく鈍化している。前月に続き、サービス業の減速が総合PMIを下押した(図表1)。

オーストラリアの製造業は、国内の財需要の減少に加え、グローバルな製造業の景況感が悪化するもとので、引き続き縮小した。製造業PMIについて構成項目を確認すると、新規受注指数、生産指数、原材料在庫指数が引き続き50を下回って推移している状況に変わりはない。雇用指数は引き続き50を上回ったが、6月50.6と5月(50.8)からは拡大ペースが幾分鈍化した。財需要が減少するもとので、サプライチェーンが正常に機能しており、サプライヤー納期指数が50を上回って推移していることも、ヘッドラインを押し下げる要因となっている(図表2)。

オーストラリアのサービス業は、6月6日のRBAの利上げ(+25bps、3.85%→4.10%)の影響もあり、節目の50は上回ったものの、拡大ペースは大きく鈍化した。サービス業PMIについて各項目を確認すると、新規受注指数、雇用指数、価格指数は引き続き50を上回り推移しているものの、ヘッドライン(活動指数)自体が大きく鈍化している(図表3)。

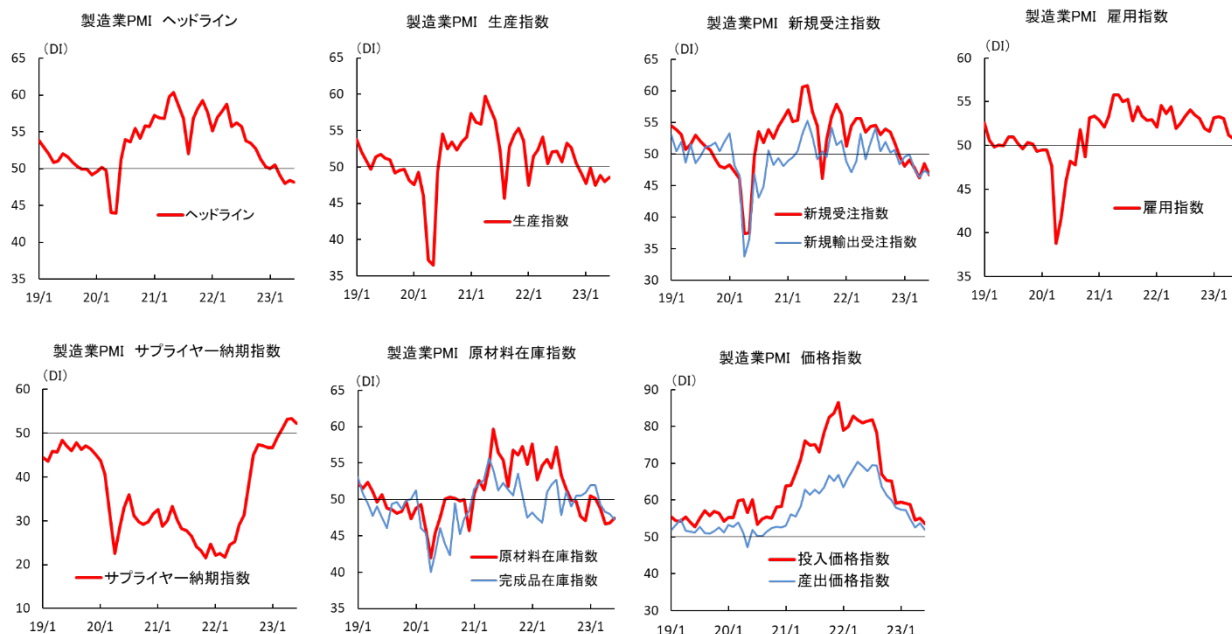
先行きは、製造業では、新規受注が引き続き縮小していることから、縮小傾向が続くと予想される。サービス業は、7月4日にRBAが政策金利の据え置きを決定(4.10%)しているが、既往の金融引き締めが住宅ローン金利等の上昇を通じて家計を圧迫しており、次月以降は縮小に転じる可能性がある。

【図表1】オーストラリアのPMI

	四半期				月次			
	22/3Q	22/4Q	23/1Q	23/2Q	23/3月	23/4月	23/5月	23/6月
総合PMI	50.7	48.4	49.2	51.6	48.5	53.0	51.6	50.1
製造業PMI	54.3	51.4	49.9	48.2	49.1	48.0	48.4	48.2
サービス業PMI	50.6	48.1	49.3	52.0	48.6	53.7	52.1	50.3

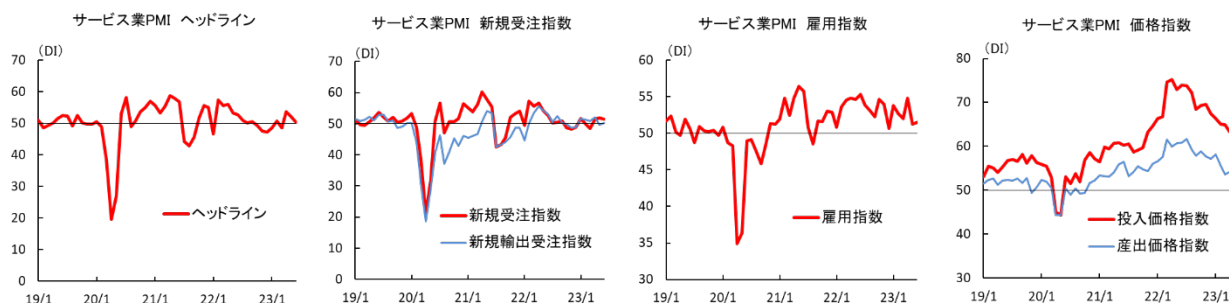
(出所) S&P Global

【図表2】製造業PMI



(注)直近はいずれも6月。
(出所) S&P Global

【図表3】サービス業PMI



(注)直近はいずれも6月。
(出所) S&P Global

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任を負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。